

平成27年度 水道事業決算状況

1 事業の概況

(1) 給水状況

本年度における給水人口は593,473人で、前年度に比べ3,276人(0.56%)の増、給水世帯数は272,468世帯で、前年度に比べ4,105世帯(1.53%)の増となりました。

また、年間配水量は64,114,976 m^3 で、前年度に比べ102,229 m^3 (Δ 0.16%)の減となり、有収水量は57,916,866 m^3 で、有収率は90.33%となりました。

(2) 建設改良事業

拡張事業では、802,976,582円を投じ、安定給水の向上と災害時等の給水対策のため、管網未整備路線の出水不良の改善と区画整理地区において管の布設を必要とする箇所を対象に、配水管布設工事を行い、口径75~600mmの配水管5,928mを布設しました。

一方、改良事業では、3,305,138,264円を投じ、老朽铸铁管等の更新のため配水管布設工事等として口径75~1,000mmの配水管等10,187mを布設し、また、老朽化した施設の更新のため浄配水場整備工事を実施しました。

改良事業の浄配水場整備工事は、平成26年度から平成27年度の2カ年継続事業である神根浄水場場内配管布設工事を始め、平成27年度から平成28年度の2カ年継続事業である新郷浄水場テレメータ装置ほか更新工事のほか、新郷浄水場配水ポンプ盤更新工事、上青木浄水場5号井掘替工事、南平配水場直流電源装置更新工事等を行いました。

2 経理の状況

(1) 収益的収支の状況(消費税及び地方消費税抜き)

収益的収入における総収益は10,991,449,190円で、前年度に比べ657,726,467円(Δ 5.65%)の減となりました。減少の主な理由は、前年度、新地方公営企業会計制度の適用に伴い、特別利益に計上した修繕引当金戻入益が皆減となったことによるものです。

一方、支出に係る費用総額は9,994,071,119円で、前年度に比べ516,589,349円(Δ 4.91%)の減となりました。減少の主な理由は、収益的収入に同じく前年度、新地方公営企業会計制度の適用に伴い特別損失に計上した、過年度分の退職給付引当金の未計上額が皆減となったことによるものです。

以上、収益的収支において当年度純利益997,378,071円の計上となりました。

(2) 資本的収支の状況(消費税及び地方消費税込み)

資本的支出の総額は5,587,838,786円で、内容は建設改良費4,118,256,766円と企業債償還金1,469,582,020円で、これに対する収入総額は1,545,086,968円で、内訳は、企業債1,400,000,000円、受託工事収入55,137,000円等となっております。

これに伴う収支不足額4,042,751,818円は、減債積立金1,360,000,000円、過年度分損益勘定留保資金2,400,614,626円並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額282,137,192円で補てんしました。